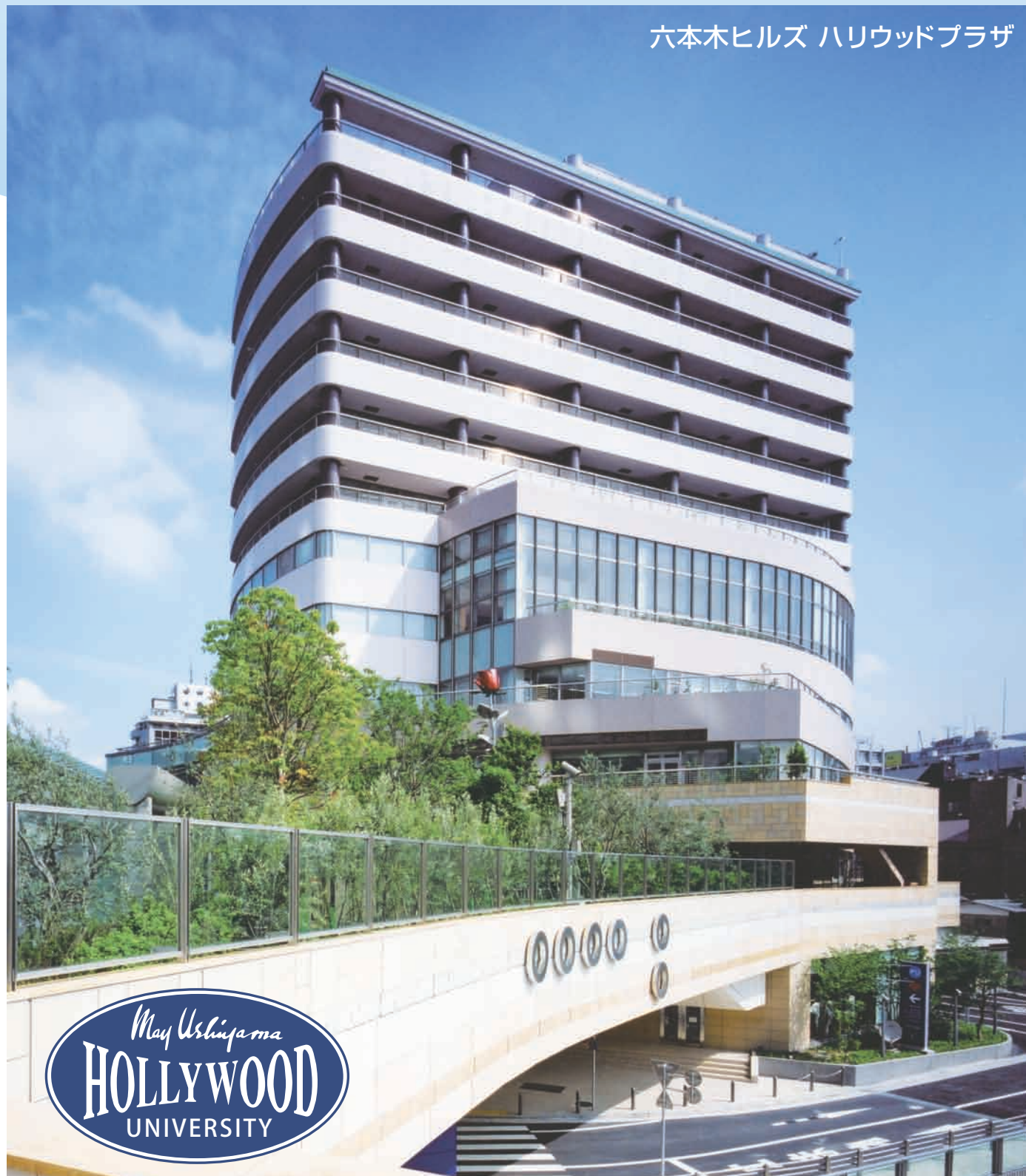


学校法人 メイ・ウシヤマ学園

ハリウッド大学院大学

ビューティビジネス研究科 ビューティビジネス専攻 専門職学位課程
Hollywood Graduate School of Beauty Business Master of Beauty Business



建学の精神

人を美しく幸福に導く一流の美の天使を育成し、
ビューティビジネスの発展に貢献することによって
美の楽園を築く



学校法人 メイ・ウシヤマ学園

ハリウッド大学院大学

ビューティビジネス研究科 ビューティビジネス専攻 専門職学位課程
Hollywood Graduate School of Beauty Business Master of Beauty Business

Hollywood Graduate
School of Beauty Business
MAY USHIYAMA ACADEMY
Master of Beauty Business

創立90年 ビューティビジネスのパイオニア

90年前創立時から世界のビューティビジネスの中心は映画のハリウッドでした。
その最先端の経営と技術を日本に広めたのがハリウッドです。



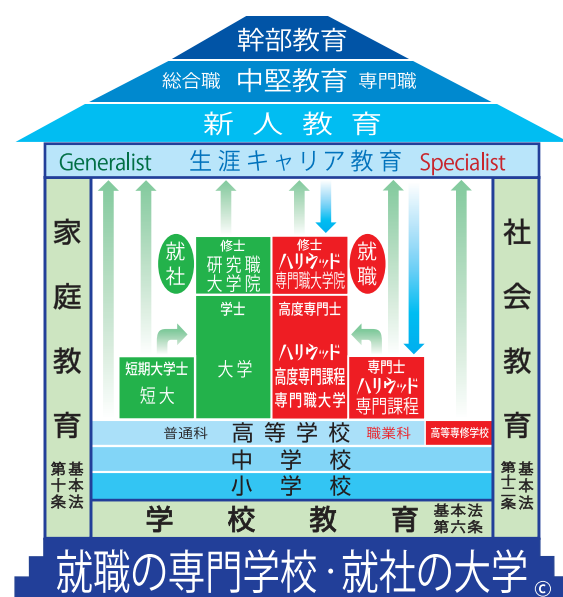
ベンチャー精神あふれる六本木ヒルズで
ビューティビジネスのパイオニアが
90年の成果を結集した大学院から
経営革新のリーダーを誕生させています。

学校法人 メイ・ウシヤマ学園
ハリウッド大学院大学

理事長 山中 祥弘
学 長 YAMANAKA YOSHIHIRO

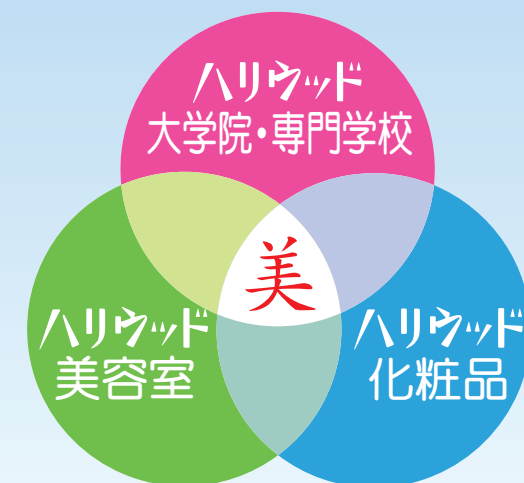
経済社会の発展により、ビューティビジネスは高度化・多様化を進めながら市場9兆円、従業者100万人を超える規模に成長してきました。さらに、**21世紀のリーディング産業**としてのビューティビジネスは益々注目されており、そのためには高度な経営管理、マーケティング、技術等のイノベーションが不可欠であります。それをリードする**イノベーターとしての経営者**を養成します。

本学は美容室、エステサロン、ネイルサロン、化粧品店等ビューティビジネスの経営者、管理者、後継者になるための高度な経営の専門知識を提供するだけでなく、ベンチャー・スピリット旺盛な社会人がビューティビジネス業界で新たなビジネスチャンスに挑戦するために必要な経営戦略やマーケティング、人材開発などの高度な知識・スキルを提供します。一流の経営者、社会貢献型の企業経営を目標に**人間性重視の日本的経営**の教育を展開していきます。



ハリウッド大学院大学とは

ビューティビジネスのパイオニアとして90年の実績を誇るハリウッドビューティグループ。
ハリウッド大学院大学は、その成果を結集した、**世界初のビューティビジネス専門職大学院**です。
ビューティビジネスマネジメントにおける高度な知識・スキルを学び、「ビューティビジネス修士」を取得した卒業生たちは、ビューティビジネスリーダーとして世界にはばたいています。



ハリウッド ビューティグループ

ハリウッドのあゆみ

トータルビューティのパイオニア

日本の美容と化粧の近代化を目指して、大正14年(1925年)にアメリカのハリウッドスターであった牛山清人がハリウッドビューティ専門学校・ハリウッドビューティサロン・ハリウッド化粧品を創業。
日本のビューティビジネスの発展に貢献してまいりました。



昭和6年 ハリウッド美容研究所



昭和25年 ハリウッドビューティスタジオ



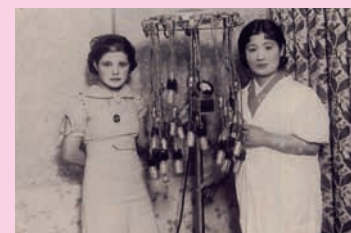
昭和41年 ハリウッドビューティセンター



平成15年 ハリウッドビューティプラザ

ハリウッドの伝統美容

近代美容の開花する大正時代に創業し、メイ・ウシヤマが最先端のパーマメント技術を始め、ヘア・メイク・ネイル・エステのトータルビューティを日本女性に提供してきました。その志を継ぐハリウッドグループサロンは、現在も国際的なファーストレディに愛されています。



当時のパーマメント機械(左)



メイ・ウシヤマとグレース・ケリー



サロンでのメイ・ウシヤマ



創立者牛山清人とメイ・ウシヤマがハリウッドの美容を日本に伝えました。

ハリウッドの化粧品

1925年創業以来、日本初のマスカラ、まつ毛クリーム、ヘアクリームを開発。さらに、1960年の発売以来ロングセラーを続ける「酵素パック」「オーキッドマスク」など、日本の化粧品業界のパイオニアのハリウッド化粧品。母から娘、さらに孫へと受け継がれる安心のブランドは、そのまま日本女性の化粧の歴史です。



1937年(昭和12年)
日本初のマスカラ



日本初の酵素化粧品とまつ毛育毛クリーム



ロングセラー脱毛ワックス



往年のベストセラー化粧品

教育環境

ハリウッド大学院大学は、21 世紀のモデル都市として話題のビューティビジネスのメッカ「六本木ヒルズ」にあります。成長著しい先端企業と、200 店以上の有名ブランドのショップとレストラン、映画館、高級ホテル、超高層ビルの展望台、美術館、さらに居住空間が一体となった、最もファッショナブルで、ベンチャー精神あふれる街です。

この街で送るキャンパスライフは、刺激的で先進的なものになることでしょう。



六本木ヒルズ全景

日本初のビューティビジネス専門職大学院大学

本学は日本唯一のビューティビジネスのリーダーを生み出す大学院です。高い学識の研究者教授と豊富な実務経験の実務家教授との連携によってケーススタディを中心に展開し、21 世紀のビューティビジネスのリーダーとなる経営者を育てます。

ビューティビジネス修士(専門職)(Master of Beauty Business・MBB)の学位が授与されます。

ハリウッド大学院大学の主な出版書籍



六本木ヒルズビルミネーション

六本木ヒルズ 展望台

リップスティックの大鳥居

ビューティビジネスのパイオニアが 90年の成果を大学院に結集

90年前の創立時から世界のファッションと美容と化粧品品の中心は映画の都ハリウッドでした。その最先端のファッションとヘア・メイク・ネイル・エステおよび化粧品のトータルビューティビジネスを日本に広めたのが当時のハリウッドスターハリリー・ウシヤマと美容家メイ・ウシヤマです。人を美しく幸福に導くビューティビジネスで活躍する美の天使を育てるのが本学の使命です。

産業界と大学院との産学協同による「理論と実践の有機的結合」の教育システムで高度な専門経営者を育成します。

経営学、会計学、マーケティングなどのビジネス基礎科目は、指導経験が豊富な研究者教授が担当。また、ヘアメイクサロン、エステティックサロン、化粧品店など、各業態別に設けられるマネジメントや従業員の技術評価に関する発展科目は、実務経験豊富な実務家教授がケーススタディを中心に展開。研究者教授と実務家教授が理論と実践をバランス良く提供し、2 年次に設けるプロジェクト研究において融合させることで、ビジネスに直結した高度な知識・スキルを効果的に修得できます。



ベンチャー精神あふれる 六本木ヒルズ

21 世紀のモデル都市と話題のファッションタウン「六本木ヒルズ」に美の殿堂として新校舎「ハリウッドプラザ」が完成しました。六本木駅から校舎の地下1 階へ直結です。「六本木ヒルズ」は200店以上の有名ブランドのショップとレストラン、映画館、高級ホテル、超高層ビルの展望台、美術館、超高層のオフィスビルとマンションが一体となった都心最大規模・最もファッショナブルな街です。



六本木ヒルズ全景

ビューティビジネスは 21世紀の成長産業

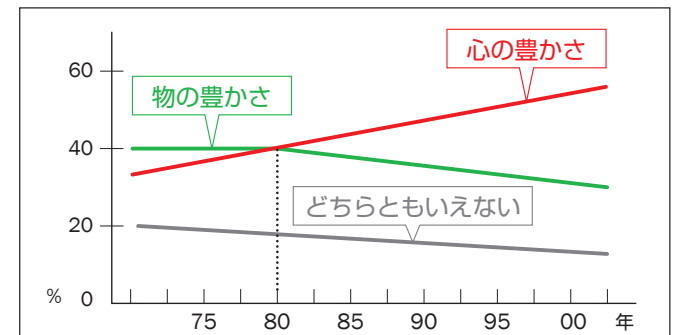
ビューティビジネスの経営革新は サービス産業の経営革新モデルとなる

ビューティビジネス市場における消費者ニーズは確実に多様化、高度化しており、市場9兆円、従業員100万人を超える規模に成長しています。それに対応して、多様なライフスタイルを持つ顧客にホスピタリティに富んだサービスで感動を与えることの出来る高度な経営力を持つ優秀な人材が必要になっています。

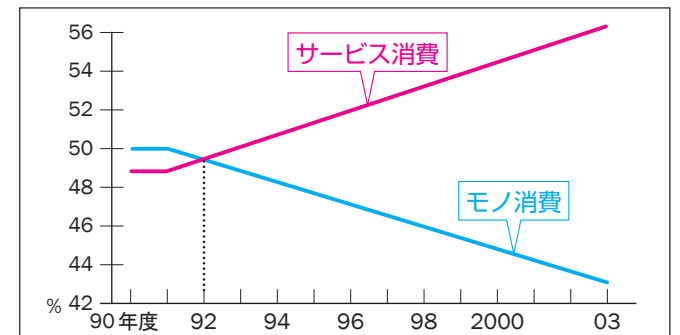
しかし、現状はそれに応えられる教育機関が存在せず、それがビューティビジネスの発展を阻害する要因になっています。こうした事情から企業成長に必要な経営のスキルやノウハウに優れた能力を持ち、かつ企業家精神旺盛な人材は極めて切迫している状態です。

アジア地域の経済発展途上国、特に自由化の進む諸国では、すでに大衆レベルまでビューティビジネスに対する需要が高まっています。本大学院で育った人材はこうした諸国においても、ビューティビジネスの新たな活躍の場として期待できます。さらに、ビューティビジネスがグローバル化するとともに新しい人材の活躍の場が拡大します。

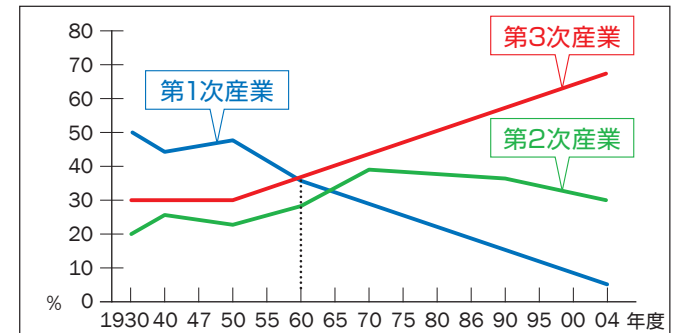
ビューティビジネスは心を豊かにする 物の豊かさから心の豊かさへ(1980年)



サービス業の成長モデルはビューティビジネス モノの消費からサービス消費時代へ(1992年)



経済成長には第3次産業の生産性向上が急務 産業別就業者は第2次産業から第3次産業時代へ(1960年)

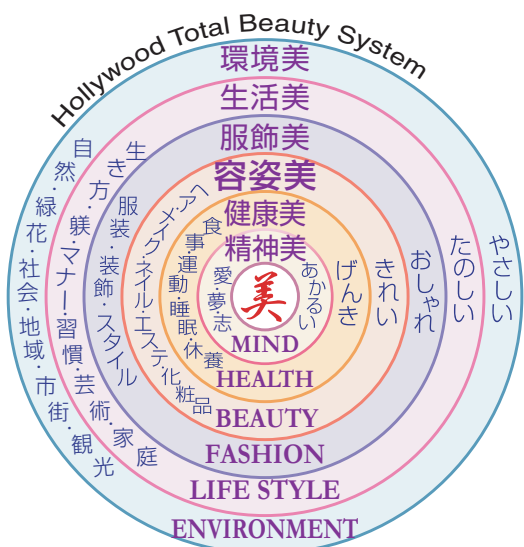


ビューティビジネスの トータルビューティ「美の哲学」

ビューティフルライフを提唱して90年

真のビューティフルライフは**精神美・健康美・容姿美・服飾美・生活美・環境美**のすべてがそろって実現します。
創立以来この**美の哲学**を追求して90年、常に先端的なビューティとファッションを中心に美の6要素を総合的に学べるのが特徴です。

トータルビューティの概念



高度化・多様化する ビューティビジネス

ビューティビジネスの概念

ビューティビジネスの職業と産業：商品分類から生活目的分類へ
市場7兆円、従業者100万人を超える理美容化粧品産業

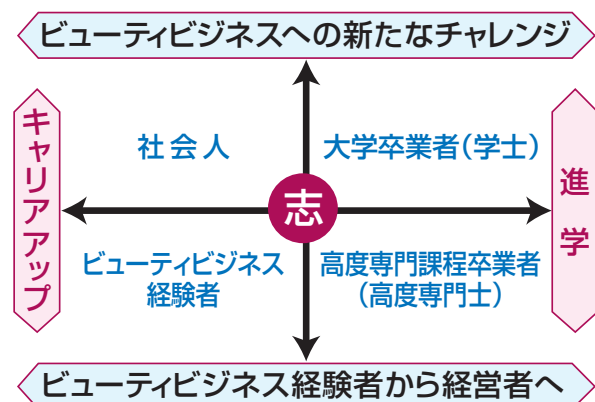
美の構成	職業	産業	
精神美 MIND	メンタルセラピスト レセプション コンシェルジュ カウンセラー	ホスピタリティ産業	広義のビューティビジネス
健康美 HEALTH	医師、看護師、栄養士 調理士、フードコンサルタント ヘルスアドバイザー スポーツトレーナー	健康医療産業 フィットネス 2,945億 健康食品 5,100億	
容姿美 BEAUTY	ヘアデザイナー メイクアップアーティスト ネイリスト、エステティシャン コスメティシャン	理美容化粧品産業 理容 8,545億 美容 16,573億 エステ 3,834億 化粧品 33,410億	
服飾美 FASHION	ファッションスタイリスト ファッションアドバイザー ファッションデザイナー ファッションモデル	ファッション産業	
生活美 LIFE STYLE	ライフスタイリスト 芸術家、芸能人 インテリアデザイナー テーブルコーディネーター	ライフスタイル産業	
環境美 ENVIRONMENT	環境デザイナー 建築デザイナー	環境産業	

ビューティビジネス 専門経営者へのコース

ハリウッド大学院は、ビューティビジネス教育のパイオニアとして、90年の成果とその高度な教育システムの基盤に立ってビューティビジネスの専門職業人として不可欠な専門能力を修得し、経営者・管理者・指導者を育成することを目指します。

A ビューティビジネスへの新たなチャレンジャーコース
A1タイプ 異業種社会人のビューティビジネス専門経営者への転職チャレンジ
A2タイプ 大学卒業者(学士)のビューティビジネス専門経営者へのチャレンジ

B ビューティビジネス経験者から経営者へキャリアアップコース
B1タイプ ビューティビジネス経験者の専門経営者へのキャリアアップ
B2タイプ 美容高度専門課程卒業者(高度専門士)のキャリアアップ進学



活躍の場が広がる 産業界と職務分野

目指す産業

経営者として活躍する産業分野は、理・美容サロンまたは化粧品やファッション店舗の店長レベルのストアマネジメントからトップ・マネジメントおよびビューティビジネス分野の教育機関の経営者と教育者を目指します。

1. ヘア、メイク、ネイル、エステ等の美容産業
2. 化粧品産業(メーカー、ディーラー、専門小売店)
3. ビューティ関連産業(ヘルス、ファッション)
4. ビューティ関連教育機関

目指す職務

ビューティビジネスの中心的存在であるヘア・メイク・ネイル・エステ等の理美容業界、化粧品業界、ファッション業界、美容健康業界等において、ビジネスリーダーとしての専門経営者あるいは管理者、教育者を目指します。

1. 経営者、後継経営者、経営コンサルタント
2. 中堅幹部、店長、支配人、マネージャー
3. 教育訓練指導者、教職員
4. ベンチャービジネス

使命・目的

ハリウッド大学院大学(以下「本学」という。)は、教育基本法及び学校教育法のもと、建学の精神に則り、ビューティビジネスに関する学理及び応用を教授研究し、高度な専門職としての資質と専門的能力を培い、広く国際的視野に立って、社会の発展に貢献する有為なる人材を養成することを目的とする。

教育目的・人材育成目標

研究科では、広い視野に立って精深な学識を授け、ビューティビジネスに造詣の深い、高度な専門職を担うための卓越した能力を培った経営者・管理者・指導者を育成することを目的とする。

カリキュラムポリシー (教育課程の編成・実施方針)

本学は、ビューティビジネスの特性を理論的に分析理解し、かつ高度な経営理論を実践できる専門性の高い経営能力を獲得するため、以下のような方針に基づいてカリキュラム(教育課程)を編成しています。

- ①産業界と大学院との産学協同による「理論と実践の有機的結合」に留意し、「経営系」と「技能系」の両面から科目を配置。
- ②各学生が関心ある科目を修了後の進路に合わせて幅広く学習し、また研究課題を深められるよう、研究者教員と実務家教員が共同してカリキュラムを編成し、連携した履修指導を実施。
- ③ビューティビジネスに関わる技術者を評価する能力を持った専門経営者を養成するために、テクノロジー科目を開講。
- ④知識を広げ理解を深めるため、基礎科目、発展科目、実践科目および段階的な科目を配置。
- ⑤ビューティビジネスに関わる技術者を評価する能力を持った専門経営者を養成するために、テクノロジー科目を開講。
- ⑥学修の成果を判定するため、修了要件となる必修科目として「プロジェクト成果報告」を開講。

多様なニーズに対応する 履修・聴講システム

社会人に便利な平日昼夜間・土曜開講2年制

- ・科目履修生は特に履修したい科目を選択できます
- ・科目聴講生は特に聴講したい科目を選択できます
- ・ハリウッドビューティ専門学校を併習または聴講できます

時間	時間	月	火	水	木	金	土	
1	9:00~10:30							日
2	10:40~12:10							
昼間	12:10~13:20						昼休み	
3	13:20~14:50							
4	15:00~16:30							
5	16:40~18:10							
夜間	6	18:20~19:50						
7	20:00~21:30							

■は開講予定の時間割です。
■は前提基礎科目の時間割です。

ビューティビジネスの研究者教授と 実務家教授との連携による優れたカリキュラム (2015年の例による)

サービスビジネス基礎科目

産業論・マーケティング論・経済学・経営学・会計学など経営に携わる者にとって必要な知識をサービスの観点から学ぶ。サービスビジネスの基礎となる科目。

○サービス産業論(必須・2単位) 白石 重明

サービス産業を「付加価値の提供」という視点から捉え、講義・ディスカッションにより、サービスブランド開発、サービスグローバル展開に関する能力開発を行う。

○サービス経営学(選択・2単位) 寺本 義也

「サービス企業の戦略経営」をテーマに、異種融合ビジネスの誕生を背景としたサービス経営学及び戦略経営からビューティビジネスの経営を考える上で不可欠な知識を学ぶ。

○サービスマーケティング論(選択・2単位) 今井 利絵

サービス産業におけるマーケティング活動の理論と実践を身につける。サービスを定義と分類により整理し、実際のケースを理論に適用する事で知識を定着する。

○サービス経営会計論(選択・2単位) 田井 良夫

会計の技術(簿記)、会社計算記録(会社法会計)、国際財務報告基準(IFRS)、その他の会計諸則(ASBJ基準など)についての会計学。また、その目的・意義や金融システムも概観する。

ビューティ基礎科目

美に関する文化・美学・心理学の観点からビューティとは何かを紐解くための基礎知識を身に付ける科目。

○ビューティ文化論(必須・2単位) 山中 ジェニー

西洋と東洋のヘア・メイク・ファッションの比較文化と、その時代を彩る女性たちの生き方を、映像を多く取り入れて講ずる。また、親子代々伝わる美容と健康の食事法も紹介する。

○ビューティ美学(選択・2単位) 福地 隆芳

「色」「かたち」はビューティビジネスにとって、最も有効な方法である。色によるコミュニケーション、各種デザイン、基礎的な造型課題から色彩・立体構成を実践的な演習を通して学ぶ。

○ビューティ心理学(選択・2単位) 藤原 美子

発達心理学・相貌心理学などの見地により、健全な肉体・精神の維持、及び美容行為が精神活動に及ぼす影響や、ストレス社会・高齢化社会において美容が果たせる役割を考察する。

マネジメント発展科目

○経営理念戦略論(必須・2単位)

 横澤 利昌

経営理念なき経営戦略による経営危機の増加を背景に、優れた日本の経営の企業成長モデルとしてトヨタ、松下、ソニー、ホンダなどを考察し、不変の経営理念に基づく経営理念戦略を構築する。

○成功学(選択・2単位)

 榊原 節子

人はどう成功していくのか。具体的な目標設定法、その成就を助ける心理的手法、挫折への対処法、起業、仕事での成功の要素など幅広く人生設計のツールについて学び合う参加型授業。

○キャリア教育論(選択・2単位)

 伊藤昭彦・星野文男

本講は、ビューティビジネスに於けるキャリア教育をテーマに、そのリーダーや経営者・教育担当者を対象に具体的な事例や演習を通して論じていく。

○ビジネス法務(選択・2単位)

 上妻 博明

本講では、事例を中心に法律関係の考え方を説明し、取引に必要な民法や商法、取締役の責任等を定めた会社法をはじめ、企業活動を規制する法律に関しての基礎知識の習得と理解を図る。

○ベンチャーマネジメント論(選択・2単位)

 田中 保行

ベンチャービジネスの原点であるイノベーションについて考察すると共に、その事業化に必要な仕組みを学ぶ。また、化粧品開発の担当者と仮定し、事業化・商品化の演習を行う。

○看護介護マネジメント(選択・2単位)

 横澤利昌、(天沼眞佐子)

施設から在宅ケア中心となる将来、看護と介護が有機的に協力し合う必要がある。経営戦略論を中心に、施設(サロンの)経営、ケアのマネジメントの本質を考え、具体的な起業実践へと応用する。

○美容医療論(選択・2単位)

 麦谷 眞里

「美しさの秘訣は健康から。心の底から美しくなるために」をテーマとし、メイウシヤマ先生の健康への考えに基づいて、美容と健康(医療)との融合を図るビジネス・モデルの構築を目指す。

○長寿医療論(選択・2単位)

 麦谷 眞里

平均余命が80歳近くとなった長寿社会において、いかに健康に日常生活を送るかにという事に加え、美しく生きることが重要な視点となる。本講では、医療の側面から高齢化社会を見る。

ビジネス発展科目

○ビューティビジネス論(必須・2単位)

 山中 祥弘

ビューティビジネスの技術者は世界のトップレベルに達しているものの、経営の生産性が欧米に比べ低い事が課題である。従業者の社会的・経済的地位向上のための、経営革新について考察する。

○ホスピタリティビジネス論(選択・2単位)

 横澤 利昌

ビューティサービスはホスピタリティが不可欠である。マネジメント面においては、外観から環境まで全てが含まれる。そのためには「人格と人格の響きあい」まで高め、顧客の価値を創造する。

○クリエイティブビジネス論(選択・2単位)

 野嶋 朗

組織のクリエイティビティによって顧客との新たな関係性が構築されている。本講ではビューティ領域およびそこに隣接する市場の新しい潮流からクリエイティブなエンジンを事例的に研究する。

○ファッションビジネス論(選択・2単位)

 尾原蓉子・中川登紀子

日本におけるファッションビジネスの基礎知識と応用的なビジネス活動の骨格から、世界における日本の立ち位置と海外比較、ファッション産業の今後の課題を学ぶ。

○ビューティサロンビジネス論(選択・2単位)

 野嶋 朗

サロンとステークホルダーの成功モデルにはいくつかのユニークネスが存在する。本講義では日本のビューティサロンビジネスの多様性とユニークネスを事例と共に学ぶ。

○エステティックビジネス論(選択・2単位)

 野嶋 朗

新しい市場の可能性が高まる一方、人材育成、特商法、顧客の期待値の変化等経営を取り巻く環境は変化している。講義では事例を中心に顧客の期待とサロン経営の実態を捉える事を重視する。

○コスメティックビジネス論(選択・2単位)

 伊東昭彦・中川登紀子

化粧品業界の経営及びマーケティングを徹底して学ぶことにより、化粧品以外のビューティビジネスの経営者や戦略スタッフ、起業を目指す者に関しても論理的及び実践的な能力が習得できる。

○ブライダルビジネス論(選択・2単位)

 野嶋 朗

ブライダル関連業界のビジネスモデル、各分野のスペシャリストの経験・スキルを中心に事例から学ぶ。実業界で活躍する経営者などを講師に迎え、多様な連携の可能性を探る。

○ヘルスケアビジネス論(選択・2単位)

 今井 利絵

フィットネス、化粧品・健康食品業界等のヘルスケアビジネスの概要、事例研究、政策を包括的に学習する。担当教員による講義の他、ゲスト講師も多数盛り込み、産学官連携の講義とする。

テクノロジー発展科目

○トータルビューティ技術論(必須・2単位)

 渡邊 雅美

本講では、ビューティビジネス経営者として必要なビューティの伝統的技術及び先端的技术を概観するとともに各専門分野の技術を紹介し、トータルビューティ技術の基礎的な理解を深める。

○デンタルビューティ技術論(選択・2単位)

 川本 善規

美容行為と医療行為の連携や、口腔と美容・アンチエイジングなどを解説し、最終的にメディカルビューティの側面からどのようにビューティテクノロジーに係り貢献できるかを学ぶ。

○ヘア技術論(選択・2単位)

 渡邊 雅美

ヘアスタイルの基礎的な理論と技術を顧客視点で技術評価する為に、必要な知識としてのヘアスタイルの歴史、およびシャンプー、カットパーマ、カラー、セットの講義と実習を実施する。

○メイクアップ技術論(選択・2単位)

 中野 正好

メイクアップはシーンやTPOによってデザインが変化する。メイクアップ料の応用テクニックを駆使して様々なシーンに対応できる技術を学び、技術者の評価ができる事を目指す。

○ネイル技術論(選択・2単位)

 中村 富玖実

ネイルサロンで最も重要な基本技術であるネイルケアを習得し、応用と正しい手入れ方法及びエナメルカラーリング技術を身につける。

○エステティック技術論(選択・2単位)

 木村泉／中務真澄／中嶋教子

エステティックビジネスの技術者に必要な能力としての知識と技術・修得の理解を深める。



前提科目

○簿記会計論(自由・2単位)

 田井 良夫

本講では、簿記会計の技術の理解を深めるために、簿記の目的や意義、役割といった基本的な考え方、ならびに、実務上の処理方法等について演習をふまえながら講義を行う。

○サービス心理学(自由・2単位)

 藤原 美子

学習心理学、臨床心理学、心理療法など広くそれらの知見を紹介する。そして具体的な心理的テーマについてディスカッションすることに加え、よりいっそう理解が深まるように講義を進める。

○プロジェクト研究(自由・2単位)

 寺本 義也

プロジェクト成果報告に向けた「論文の書き方」を習得する。論文を書くための基本的な事項を理解すると共に、各自の発表を行う事によって実際の論文を書くための実践的な指導・助言を行う。

○ビジネス日本語A B C D(自由・2単位)

 川島 鋼太郎

受講生の背景・特徴と語学力・語彙力を踏まえ、調査研究に必要な不可欠な日本語力を習得した上、ビューティ・ファッションに特化した基本的な日本語の語彙と文法を身につけることを目指す。

○美容経営(自由・2単位)

 橋田 隆靖

サロン開業に関する心得、準備、具体的な活動を概説し、実務的な基礎を学習する。特に、開業時の資金調達の際に必ず必要となる「事業計画書」の作成要領を講義する。

○日本文化論(自由・2単位)

 上妻 博明

本講では、精神文化、芸術文化、生活文化に直接触れることにより、これらが企業にどのような影響を与えているか、また今後どのような展開になっていくのかを実証する。

○クラウドマネジメント(自由・2単位)

 江島 夏実

クラウド技術の基礎、適用事例、制約と限界などについて学習する。特に、クラウド技術の適用事例を用いて演習等を行い、業務マネジメントの視点からクラウドを活用する力を身につける。

○教育マネジメント論(自由・2単位)

教育に関する一般的な知識・理解のうえに立ち、ビューティビジネスに携わる経営者や指導者としての経営方針や社員研修、顧客への対応等の改善に資する。

プロジェクト科目

○プロジェクト成果報告(必須・4単位)

 若林克彦、専任教員

PBL型実践プロジェクトとする。ビューティビジネスの「場」の課題／問題点を解決する事を目的とする。ビジネスモデルを成果とすることもある。

ビューティビジネス修士(専門職)の (Master of Beauty Business) 学位が授与されます

ビューティビジネスにおいて、90年の歴史があるハリウッドグループ。その成果を結集し、また、専門分野においてわが国を代表する充実した教授陣が、丁寧に指導します。

設置者	学校法人　メイ・ウシヤマ学園 May Ushiyama Academy		
名称	ハリウッド大学院大学 Hollywood Graduate School of Beauty Business		
設置学科	ビューティビジネス研究科　　Beauty Business School ビューティビジネス専攻　　Beauty Business Course ビューティビジネス修士(専門職) Master of Beauty Business		
教育目的	ビューティビジネスに造詣の深い、高度な専門職としての 経営者・管理者・指導者を育成する。		
設置	2008年	修業年限	2年間

ディプロマポリシー (学位授与方針)

本学は、以下のような能力を身につけ、ビューティビジネスの発展に貢献できる実務実践性が認められた学生で、かつ所定の単位を修得した学生に課程の修了を認定しています。

- ①ビューティビジネスの本質であるホスピタリティマインドの実践と近代的な経営理論を実践し得る能力。
- ②ビューティビジネスを構成する精神美・健康美・容姿美・服飾美・生活美・環境美についての深い理解力。
- ③ビューティビジネス・業界に関して専門的知識を持つとともに、ビューティビジネスの経営について実証的・体系的に考察しそれを実践し得る能力。
- ④ビューティビジネスの専門職業人に必要とされる知識、および技術者を評価し得る能力。
- ⑤ビューティビジネスの養成機関における優れた教育能力・指導力。

生涯キャリア支援の学生サポート

▶ 充実・安心の奨学金制度

本校独自の学費支援制度として、学費減免貸与の「ハリー奨学金」および寮費補助の「ジェニー奨学金」制度の他、日本学生支援機構、教育訓練給付制度、提携ローン等の各種奨学金が充実しています。詳しくはお問合せ下さい。

▶ 生涯キャリア開発センターのサポートシステム

理美容業界、化粧品業界、ファッション業界に精通した本学のキャリアセンターが業界との強いネットワークによって就職・転職・再就職および開業さらに再教育キャリアアップなどの生涯キャリア支援体制も充実しています。

▶ 学生生活

学生生活充実のための学生美容室、学生寮および学生相談などの学生生活支援により、明るく楽しく安心な学生生活をサポートします。

アドミッションポリシー (入学者受入方針)

ハリウッド大学院大学では、次のような学生を求めています。

- ①ビューティサロン経営に従事し、その知識や技術に加えて高度な経営理論を習得し、新しいビジネスモデルに基づく専門経営者・管理者として独立を希望する社会人。
- ②化粧品等ビューティビジネス関連業界においてその経営の高度化を推進し、管理者・ビジネスリーダーとなる志をもつ社会人。
- ③ビューティビジネス業界での学術経験がなくとも成長産業としてのビューティビジネスに注目し、その後継者・管理者およびベンチャービジネスとして新規参入を目指す人。
- ④ビューティビジネスの教育機関等において教育者・指導者としての専門教員を志す人。

募集要項

■ 入学時期 4月・10月

■ 募集定員 1学年 40名
※科目等履修生、聴講生についても募集しております

■ 出願書類(一般・社会人・推薦・外国人留学生)

- (1)入学願書
- (2)写真票(A票)
(3ヵ月以内に撮影した縦4cm・横3cmの上半身・正面・無帽・無背景で光沢仕上げのカラー写真)
- (3)受験票(B票)
- (4)入学検定料振込証明書(C票)
- (5)卒業(見込)証明書(コピー不可)
- (6)研究計画書
- (7)成績証明書
- (8)健康診断書
(様式は任意とし、作成日より6ヵ月以内のもの。コピー不可。)
- (9)本大学院に対する推薦状 1通 (社会人推薦のみ)
(職場の責任ある方、出身学校長 等)

■ 出願資格

本学に入学することのできる者は、次の各号に該当する者でなければならない。

1. 学校教育法第52条に定める大学を卒業した者。
2. 専修学校高度専門課程において、高度専門士の認定課程を修了した者。
3. 外国において、学校教育における16年課程を修了した者。
4. 文部科学省の指定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。
5. 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められる者。
6. 本研究科委員会が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び入学月の1日までに22歳に達する者。

■ 試験日程(一般・社会人・推薦・外国人留学生)

随時受け付けております。

※詳細は大学院事務局までお問合せ下さい。

■ 学費 別紙で参照ください。

大 学 院 大 学

ハリウッド大学院大学

ビューティビジネス研究科
ビューティビジネス専攻 専門職学位課程 (2年)
ビューティビジネス修士 (専門職)

お問合せ

TEL 03-3403-3403

FAX 03-3423-6092

E-mail mba@hollywood.ac.jp

URL <http://www.hollywood.ac.jp/mba>

携帯サイト



附属専門学校 職業実践専門課程認定校

ハリウッドビューティ専門学校(専修学校)

美容科・トータルビューティ科
●高度専門課程(4年・高度専門士・大学院入学資格)
●専門課程(2年) ●通信課程(3年)

お問合せ

TEL 03-3408-5020

FAX 03-3423-6092

E-mail info@hollywood.ac.jp

URL <http://www.hollywood.ac.jp>

携帯サイト



〒106-8541 東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドプラザ